

- 1 開催日時** 平成30年7月25日(水)  
午前10時～正午

**開催場所** 小牧市役所 本庁舎4階 404会議室

**2 出席者**

- (1) 推進市民会議委員 19名(欠席:1名(秦野委員))  
(2) 事務局 山田地域協働担当部長  
協働推進課:入江課長、松浦係長、長屋  
(3) 傍聴者 なし

**3 会議資料**

会議次第

第2回小牧市地域協議会推進市民会議 配席表

第2回小牧市地域協議会推進市民会議 グループ分け一覧表

資料1 小牧市地域協議会推進市民会議について

**4 会議内容**

- 1 会長あいさつ
- 2 前回の振り返り
- 3 地域協議会の手応え・課題は?
- 4 地域協議会 阻むもの&進めるものって?(グループワーク)
- 5 その他

**【事務局】**

皆さん、おはようございます。

本日はお忙しい中、また酷暑の中、ご出席いただきましてありがとうございます。

ただいまより、第2回小牧市地域協議会推進市民会議を開催させていただきます。

会議に先立ちまして、皆様に市民憲章の唱和をお願いしたいと思います。

恐れ入りますが、ご起立をお願いいたします。

お手元の次第の裏面をご覧くださいまして、私が先導いたしますので、後についてご唱和をお願いいたします。

〔小牧市民憲章 唱和〕

**【事務局】**

どうもありがとうございました。ご着席ください。

本日の会議の予定につきましては、お手元の会議次第のとおりであります。

それでは、次第1の会長挨拶ということで、加藤会長からご挨拶をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

**【加藤会長】**

改めまして、おはようございます。

前回7月にお会いしたときから今日までとても暑い日が多いですね。僕の故郷が、広島県の因島というところまでございまして、幸い実家は水には浸からなかったんですが、尾道からの水道のパイプラインが断水で全部止まってしまって、多分10日ぐらいは水道が出ない状態が続き、先週復旧をしたということでした。だから、お風呂に入るのも大変で、給水車が1日1回ぐらい来るんですが、それでは足りなくて、地元のお寺が井戸水を配ったり、近所に井戸のある方でお互いに融通し合うことで、水を確保したそうです。父も言っていたんですが、災害が起こったときこそ近所のつながりがやっぱり大事なんだということを思い知ったと言っていました。

自分たちの身近な地域で、市役所が来るのを待っているというだけじゃなかなか問題が解決しないということもあるので、そういうときに今回話しを進めていく地域協議会のように地域でどういう力が発揮できるのかと

いうことを問われているんだと改めて思った次第です。

それでは今日はよろしく申し上げます。

**【事務局】**

加藤会長、どうもありがとうございます。

それでは、以後の司会進行につきましては、会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**【加藤会長】**

会議を始めます前に、この会議は、小牧市地域協議会推進市民会議設置要綱第5条第3項に基づき、公開することとされています。本日は傍聴の方はなしということです。

それでは、しばらく時間が経ってしまったので、次第2の前回の振り返りと、それから次第3の地域協議会の手応え・課題についてをまとめて事務局の方から説明をお願いします。

**【事務局】**

それでは、私から次第2の前回の振り返りということで、簡単に説明をさせていただきます。

まず、前回の第1回地域協議会推進市民会議では、まず前段で委嘱状の交付をさせていただきました。その後、委員の皆さんの顔合わせということで、自己紹介をさせていただきました。正・副会長の選任を行いました。

また、平成29年度の地域協議会の活動状況につきまして、委員の中に陶と篠岡と小牧原小学校区の地域協議会の会長の方がいらっしゃいますので、その報告をしていただきました。また、大城小学校区の活動状況につきましては、事務局から報告をさせていただいたところであります。

各協議会とも、地域の実情に合った活動が実施されておりまして、交流促進型の事業と、課題解決型の事業、これを行うことで支え合い、助け合いの地域づくりを目指しているということが委員の皆様方で共有できたと感じております。

最後に、本会における今後の協議事項としまして、まず1つ目は地域協議会設立の根拠や位置づけなどについて検討していくこと。2つ目として、現在、設立されております協議会の活動を、活性化していけるような取り

組みについて意見交換などを行っていくこと。また、本会議の協議内容によりましては、地域協議会の制度方針、小牧市地域助け合い交付金の交付要綱等の内容につきましても、必要に応じて見直しを行うということを説明させていただきました。

また、参考資料としまして、他市の地域協議会の設立、位置づけに関する条例等の6つの事例を、一覧表にまとめ紹介させていただきました。

以上で、前回の会議の振り返りとさせていただきます。

続きまして、次第3につきましては、担当から説明をさせていただきます。

### 【事務局】

次第3の地域協議会の手応え・課題は？ということで、資料1の地域協議会活動状況等調査票、A3の資料をご覧ください。

今日は、後ほど地域協議会の設立の推進や活動の活性化につなげるグループワークを行います。その前段階としまして、現在、立ち上がっております6つの地域協議会の状況を共有していくことを目的に、今回、聞き取り調査を行いまして、この資料を作成いたしました。協議会の設立順に並べておりますが、参考で、その協議会の学区内の区の数を関係区数として示しております。

聞き取った内容につきましては5つありまして、1つ目は、設立するまでに苦労したことや大変だったこと、2つ目は設立してよかったこと、3つ目は設立してから苦労したことや大変だったこと、4つ目は今後活動として取り組みたいこと、5つ目は地域協議会の制度や交付金の仕組みについての意見、提案などです。今から主だったところを説明させていただきます。

1つ目の設立するまでに苦労や大変だったこととして挙げられたことに共通していることですが、地域協議会を設立することに対して、その役割やメリット、自治会との違いですとか組織体制、規約などを地元の方に対して説明をし、理解してもらうのに非常に時間がかかった、あるいは苦慮したということがあり、これはほぼ全ての協議会に挙げられた意見となっております。中でも、篠岡や味岡につきましては、関係区長や地元との調整等で、準備期間に約2年かかったとされております。陶や本庄につきましては、もともと区を越えてつながりがあったとされておりました、設立

するのにそこまで苦勞しなかったとか、あるいはもともと連携がとれているという意見もありました。

2つ目の設立してよかったこととして挙げられたことにつきまして、全体を通して挙げられた意見は、小学校区という広い範囲で、今まで交流のなかった地域の方や団体とつながることができた、あるいは交流する場ができた、本音で会話ができるようになったという意見がありました。

個別の意見について紹介させていただきますと、陶や篠岡では、祭りなどの交流事業や防災、福祉などの課題解決事業について、学区で取り組むことで、つながりを深めることができ、さらに効率的に推進できているというご意見がありました。また、本庄と大城につきましては、学区の防災訓練の会計処理が円滑に行えるようになったというご意見もありました。

3つ目の設立してから苦勞したこと、大変だったことについてです。

全体を通して挙げられた意見につきましては、協議会の認知度が低く、地域にまだ浸透していないことが、活動を行う支障になっているといったことが挙げられております。

個別の意見としまして、陶につきましては、事務局長や役員のおかげで円滑に進行している反面、苦勞をかけているということで、特定の人に負担が集中しているのではないかというご意見があります。また、篠岡につきましては、備品の置き場所ですとか実施事業の検討や委員の選定、後継者の育成などが課題として挙げられています。小牧原では、6協議会の中で最も多い12区で構成されておりますので、なかなか全ての区に参加、協力をしていただくことが難しいということです。大城では自主財源がないということ、本庄や味岡では、専用の事務所がないということが挙げられております。

続きまして4つ目の、今後活動として取り組みたいことについてです。

協議会をもっとPRしていく必要があるということで課題を挙げられているところもありまして、篠岡では、ホームページの作成を視野に入れておられます。同じく篠岡では本年6月から高齢者のちょっとしたお困り事支援を行う「しのおかお助け隊」の活動が始まり、そういった取り組みを陶・小牧原・味岡でもやってみたいという意見が挙げられております。また、小牧原と本庄については、小学校区というスケールメリットを生かして、事業を効率化、広域化していくことで各区の負担を減らしていけるようにすることが挙げられております。

最後、5つ目ですけれども、地域協議会の制度や交付金の仕組みについて、意見、提案として上げられたことについてですが、篠岡が協議会の固有の活動は重視しつつも、共通するベースラインを策定して、協議会の活動内容に齟齬が出ないような配慮が欲しいということ、また年度途中での追加予算化など、金銭面で柔軟な支援が必要というご意見がありました。

小牧原につきましては、継続していけるような役員制度を提案してほしいということ、また大城、本庄、味岡で共通して挙げられたことにつきましては、設立準備委員会の段階で交付金がいただけるような仕組みがあるといいといったことについてご意見がありました。

簡単ですが、以上で説明を終わります。

#### 【加藤会長】

ありがとうございました。

今、事務局からご説明をいただいて、これは今日の後半のワークのベースになる、現状がどんな状況なのか、どんな手応えがあって、どんなことに困っているのかというのをこの表を見ながら考えるとよくわかるのではないかと思います。

それでは、後半にこれを持って、グループワークに臨みたいと思います。資料の配席表とグループ分け一覧表をご覧ください、A、B、C、Dのグループに分かれてください。よろしくお願いします。

〔移 動〕

#### 【加藤会長】

今、事務局が説明してくれましたこのA3の資料に現在設立されている地域協議会の課題などが書かれています。これからは小牧市全体のことを考えたいので、こういうことも参考にしながら、グループワークを進めていきます。

ブルーの付箋には何を書くかということ、地域協議会を新たに立ち上げようとしたときに何が問題になるのかということを書きます。

一方で、ピンクの付箋は何を書くかということ、現在立ち上がっている地域協議会の継続や活性化を阻むものは何なのかというのを、記入してください。

今から7分でブルーとピンクの付箋にできるだけたくさん記入してくだ

さい。よろしくお願ひします。

〔グループワーク〕

【加藤会長】

一応目安の時間になりました。まず一旦、この7分で書けたところまでをグループの中で共有したいと思ひます。15分ぐらいを目安に、声をかけて順番に張り出していきましょう。じゃあ、よろしくお願ひします。

〔グループワーク〕

【加藤会長】

皆さんのテーブルの上は、大体似たようなものがブルーとピンクの付箋が整理されていると思ひます。意見として出された付箋をそれぞれのグループに分類してタイトル、見出しをつけてください。今から10分ぐらいで、整理をしたいと思ひます。

そうしたら、10分後にまた指示をしますので、お願ひします。

〔グループワーク〕

【加藤会長】

今までは現状の課題、何が阻んでいるのかというのをやりました。

次は、黄色の付箋を使って、地域協議会のいろいろな課題に対しての解決策についてまとめてください。よろしくお願ひします。

〔グループワーク〕

【加藤会長】

それでは、時間になりましたので、今書いた付箋を該当する場所に順番に読み上げながら貼っていきたくと思ひます。

〔グループワーク〕

【加藤会長】

最後に今から、4枚のフリップボードを配ります。阻むものを解決するときのイチオシ提案のベスト3を、各グループのフリップボードに記載してください。

最後10分間で、お願ひします。

## 〔グループワーク〕

### 【加藤会長】

それでは、4班の発表を全員で共有していきたいと思います。前のボードに貼り出して、2分間で発表をお願いします。Dグループからお願いします。

### 【Dグループ】

皆さん、よろしくお願ひいたします。

ただいまからDグループの報告をさせていただきます。

新しく地域協議会を立ち上げる時の課題で挙げたものが、まずは発起人、リーダー、役員などの担い手が不足していること。それからもう一点は、もともと区の活動だけで大変であり、新しく活動を行うことに負担感があることなどが挙げられました。

そして、区と地域協議会の住み分けですとか、各学校で設立されたコミュニティ・スクールとの関係をどうするんだということがわかりにくいことが挙げられました。また、地域協議会の必要性や設立のための緊急性がわかりにくいこと、活動のイメージが沸かないことが挙げられています。

次に地域協議会の継続や活性化を阻むものは、既に活動を積極的に行っている団体との連携がなかなかできていないところ、団体とどうやって関係を持っていくかが、課題であり巻き込んでいかないと次につなげられない。やっぱり認知度が低い、これをどうするか。また、立ち上げのメンバーはいても後継者としての担い手がない。要は、同じ人ばかりで活動を行っていること。それと、活動拠点としての事務所の確保も課題として挙げられました。

最終的には、イベントなどへの参加者不足です。何をやっても人が来ない。ここに大きい問題があるというところで、私たちのグループのイチオシ提案を3つ紹介します。

1番目、やっぱり地域協議会の必要性をPRしたい。私たちは「必要性をPRし隊」を結成したいと思っております。

2番目、もう一つは認定制度の策定。要は、市として正式に地域協議会を認定する制度を設けることで、電話機の購入だとか、いろいろな活動支援に繋がるということですね。



【加藤会長】

応援がしやすくなるね。

【Dグループ】

3番目の課題の解決策として事務所問題というところで、学校にあると思われる空き教室や地域にある空き家を、地域を活性化するために活用するというのを、私たちは挙げさせていただきました。以上です。よろしく願いいたします。

【加藤会長】

ありがとうございました。

では、次はAグループお願いします。それでは、発表用紙を貼り出してください。

【Aグループ】

それでは、Aグループの発表をします。

新しい地域協議会の設立に向けての課題は、人材の問題。リーダーシップを発揮する方がなかなかいないこと、抵抗を感じる人、負担が増えると感じている人がいること。

そもそも地域協議会というものを地域の皆さんが知っているかどうかという問題。そして今、小学校区というようになっていますが、そもそものエリアが適切なのかという問題があります。

それから、忙しくて地域活動になかなか参加できないという一人一人の無関心が問題であると考えます。また、力があるであろうと思う区長会や市議会議員の推進意欲が弱く設立に向けて推進していない現状があります。

設立済みの地域協議会の活動を阻むものについては、実際にやっている人たちの意見をまとめますと、役員のみ手がない、後継者の育成不足、一部役員だけで活動しているなど担い手の問題が挙げられます。

地域には隠れた人材として、従来から様々な団体で活躍されている人たちが必ずいます。この発掘をどのように行うのかということになります。

従って、地域協議会は地域で今まで実施していた行事を検証しながら、新しくできる取り組みを進めていくこととなりますが、次へなかなか進ん

でない。新しい取り組みのきっかけとなる地域の課題があるはずなんだけど、なかなかわからない。さらに、実際に活動が続けていくときに、活動拠点や物置などが必要であることが課題であり、これらを何とかしなきゃいけない。

じゃあ、どうするか、ということで3つのイチオシ提案を紹介します。

まず1つ目は、地域協議会の設立に向けて、地域で活動しているいろいろな既存の団体や人たちがいますから、そういう人たちと連携するということです。これがスタートです。

2つ目は、地域協議会を今一度わかりやすく、力強くPRをし直さなければならないということです。

3つ目は、実際に市役所の各部署には、市民からのお困り事情が実はたくさんプールされています。個人情報とは別として、それらの共通するような情報を参考にして、新しい事業の取り組みにしたらいかがでしょうかという提案です。以上です。

#### 【加藤会長】

ありがとうございました。では次はBグループをお願いします。

#### 【Bグループ】

それでは、Bグループの発表をさせていただきます。

新規で地域協議会を立ち上げることに對しては、いろいろなネックがあります。まず、立ち上げようとしても役員になる人がいない、引っ張る人がいない。それから、皆さんの認知度がやはり低い。いかにうまく皆さんに認識させるかという話と、小学校区という広い範囲で人が集まってきたときに、合う人や合わない人といった人間関係も出てきます。

それから、地域の環境の差があります。昔からの町と、新しく住宅地として立ち上がったところでは、生活習慣などいろいろな差があります。この辺りをうまく融合しながら小学校区という範囲でまとまっていかなければならない。

あと地域協議会の知名度が全然ないです。活動の実績や内容についても知られていない。これが立ち上げのときの一つの大きなネックになっているのではないかと思っています。

次に、地域協議会の活動を継続していくときの課題として、まず人の定

着が問題になってきます。若い人がせつかく協力者になって入っても、次年度は替わっていくという問題があります。

それから、区の中でいろんな役割をやっていて、協議会の活動にまで時間をとれないという人も出てきます。

また、地域協議会のメリットって何だというのがありました。それ以外にも、活動内容がマンネリ化したらいけないんじゃないかとか、先ほど出たように活動拠点の話、事務所が狭かったらこんな活動はできないという話も出ました。

最後にBグループのイチオシ提案です。

1つ目が、まず役員を選出というのがキーになると思います。まず、区長が動いてもらわないと、内容、目的を知ってもらう必要があります。

2つ目が、認知度をアップさせるということで、ブログとか新聞、回覧等で、もっともっとみんなに知らせるということ。

それから3つ目が、実績として、要は他市町村や市内の他の地域協議会と情報の共有化が必要になってくるんじゃないかと思います。

#### 【加藤会長】

ありがとうございました。最後にCグループお願いします。

#### 【Cグループ】

それでは、Cグループの発表をさせていただきます。

新規地域協議会の設立についての課題は、小学校区でもともとつながりががないところを地元や団体を巻き込んでいくことが大切だろうなということと、それから人材がない、役員のなり手がいないといったことが挙げられました。

地域協議会の活動の継続性に対する課題については、活動拠点となる専用の事務所がないということもありましたけれども、人材の面で、やっぱり役員のみでやっているということが次に繋がっていかない、広がっていかない要因になるんじゃないのかということがありました。そういうのを何とかしなくちゃいけないんじゃないかということは、とても感じています。

最後にCグループのイチオシ提案です。

1つ目が、まず協議会をやるのが大切だと思っていますので、

最初に、これはこういう成果がなくちゃいけないとか、こういうことをやらなくちゃいけないじゃなくて、まず人を集めて協議会を立ち上げてみようということが大切と考えています。人が集まることによって、地域での課題の共有や災害が発生したときなどのつながりができると思います。

2つ目が、広報活動ですけど、地域の方が地域協議会を知らない。とても広報活動が行き届いているとは思えないので、こういう楽しい行事があるよということなども含めて、ホームページや広報などで皆さんにお知らせするのがいいんじゃないかと思います。

3つ目が、区長が引退後3年ぐらい継続して地域協議会の役員をやることを制度化することによって、地域と協議会がより繋がっていくんじゃないかと思います。単年度ではなく、何年にも渡ってそこに関わることができるよう、そういうみんなの意識の持っていくのが大切じゃないかと思っています。

#### 【加藤会長】

ありがとうございました。

いかがでしたか。2時間足らずの間に、これだけのアイデアが出ました。その中で、やっぱり共通しているところがありましたね。広報する必要があるということ。それから、活動拠点の確保ということで空き家や空き教室を使えないか、学校とうまくつないでいこうとか、もともと活動している団体や役員の方とどういった関わりを持っていくかなど様々な意見ができました。また、そもそもあまり大きな風呂敷を広げるんじゃないくて、まず人が集まること、つながりをつくることからいいんじゃないという提案もありましたし、認定制度がやっぱりあった方がいいということもありました。

そのような意見や提案を今後事務局で整理をして、それを受けて、次の会議に生かせるようにしていただきたいと思います。

それでは、最後に市から発言をお願いします。

#### 【事務局】

本日は本当にお忙しい中、会議にご出席いただきましてありがとうございます。地域協議会の設立、並びに活動の活性化に向けて、具体的なお意見を、あるいは提案をいただきました。特に活動内容のPRですとか、連

携ですとか、あるいは人材の発掘と、こういったところが設立や活動の活性化のポイントではないかと感じております。

市といたしましては、本日いただいたご意見などをまとめまして、今後の設立、活動の根拠、位置づけを明確化していく認定制度等の策定に向けて取り組んでいきたいと考えております。

なお、次回の会議では、認定制度などの素案もお示しをさせていただきますので、ご意見をいただければと考えております。委員の皆様には引き続きお力添え並びにご協力をよろしくお願いいたします。

本日は、ありがとうございました。